

成安造形大学附属

2022 近江学研究所

Omi Multicultural Institute

特集1

近江学を学ぶ

2022年度公開講座

オンデマンド講座

—近江から考える未来社会・
近江の文化を学ぶ2つの講座
「淡海の夢2022写生会」

特集2

近江学に集う

2022年度「近江学フォーラム」

会員募集のご案内

テーマ「祭—よりどころ」

近江の祭と暮らしをみつめる

5つの会員限定講座



近江学研究所について

近江学研究所の理念

県内唯一の芸術大学として「芸術による社会への貢献」を教育の理念とする成安造形大学が主唱する「近江学」は、近江という地域が持つ固有の風土を改めて深く検証する学問です。成安造形大学附属近江学研究所は、2008年4月に設立しました。近江固有の文化・風土が内包する「豊かさ」を深く掘り下げ、21世紀の社会に活かせる普遍的な価値観を見出し、そして芸術の持つ創造精神と結びつけ、新たな可能性を探求します。

研究活動紹介

研究所の役割である、研究・教育・地域貢献の3つの柱を具体的に実践し推進しています。

- ◎調査、研究
- ◎研究成果のデータベース構築
- ◎公開講座の開催
- ◎地域とつながる学内基礎教育プログラムの充実
- ◎生涯学習システムの構築
- ◎共同研究による地域貢献
- ◎文化誌「近江学」の発行
- ◎研究紀要の発行
- ◎近江学研究所WEBサイトの運営
- ◎県内文化施設とのネットワークの構築
- ◎会員制「近江学フォーラム」の運営

2022年度 役職者・研究員(50音順)

顧問：木村至宏〔成安造形大学名誉教授〕
所長：小嵯善通〔成安造形大学教授・学長〕
副所長：加藤賢治〔成安造形大学教授〕

参与：
石丸正運〔一般財団法人林美術財団理事・名都美術館館長〕
今森光彦〔写真家・成安造形大学客員教授〕
上原恵美〔京都橘大学名誉教授〕
岸野 洋〔元公益財団法人滋賀県文化振興事業団理事長〕
大道良夫〔滋賀経済団体連合会会長・大津商工会議所会頭〕
武 覚超〔叡山学院教授〕
福家俊彦〔天台寺門宗総本山園城寺(三井寺)長吏〕

客員研究員：
大原 歩〔成安造形大学非常勤講師・京都大学大学院技術補助員〕
高梨純次〔公益財団法人秀明文化財団理事(MIHO MUSEUM研究・展示担当)〕
對馬佳菜子〔仏像・地域文化プロデューサー〕
山本晃子〔高島市教育委員会文化財課主監〕
和田光生〔大津市教育委員会文化財保護課主査〕

研究員：
石川 亮〔成安造形大学准教授〕
小嵯善通〔成安造形大学教授・学長〕
加藤賢治〔成安造形大学教授〕
永江弘之〔成安造形大学教授〕
真下武久〔成安造形大学准教授〕

※参与・客員・研究員の役職等は、2022年3月10日現在を記載しています。

近江学を 探る

近江学を 探る

附属近江学研究所 所長
小嵯善通



附属近江学研究所
ロゴマーク



2022年度研究テーマ

「近江の禍」

近江の地域に入り学びながら、文化・風土の中で生み出されてきた「知恵」「かたち」「豊かさ」を探求します。
※写真はイメージです。



元三大師護符(大津市 西教寺) | 写真:真下武久

特集1 近江学を学ぶ

公開講座 | 詳細・お申込みは4-6ページをご覧ください

要申込・有料(1講座500円) ※2022年度近江学フォーラム会員は無料

公開講座(オンデマンド講座)近江のかたちを明日につなぐ

p4

A 4月22日[金]-5月6日[金]

近江—未来社会のかたち「近江から考える 新スロー・イズ・ビューティフル」辻 信一 氏

I 9月9日[金]-23日[金]

近江—受け継ぐかたち「長浜の漆文化の継承 曳山修復を手がける塗師」

渡邊 嘉久 氏 | 対談:真下武久

※オンデマンド講座の受講が難しい方を対象に「講座映像視聴会」を大学内の会場で開催します。
(各講座の配信期間最終日の翌日土曜日11:00-12:30に実施予定)

淡海の夢写生会

p5

ウ 5月28日[土] 仰木・棚田里山写生会 | 永江弘之 ほか本学教員

E 10月8日[土] 堅田・湖族の郷写生会 | 永江弘之 ほか本学教員

※特別公開講座は、新型コロナウイルスの感染状況が沈静化し、会場での開催が可能と判断できるまで延期いたします。

特集2 近江学に集う

近江学フォーラム・会員限定講座 | 詳細・お申込みは7-10ページをご覧ください

会員制・年会費5,000円

特集テーマ:祭—よりどころ

「近江学フォーラム」は、本研究所の研究・教育活動、文化振興活動に広く一般の方にも参加していただく目的で、2009年4月に設立しました。1年を通して、1つのテーマを多角的に深く学びます。



会員限定講座(オンデマンド講座)

p8

A 5月26日[木]-6月9日[木]

「祭—よりどころ 場所の中心とゆるい境界」金 再奎 氏・加藤賢治・石川 亮

B 6月23日[木]-7月7日[木] 「近江の祭・神仏習合のかたち、比叡山と日吉大社」嵯峨井 建 氏

C 10月27日[木]-11月10日[木] 「宮座と当屋制」市川秀之 氏

D 11月24日[木]-12月8日[木] 「近江の曳山祭」橋本 章 氏

E 1月5日[木]-19日[木] 「現代と祭り 過去と未来をつなぐ玉手箱」矢田直樹 氏

※オンデマンド講座の受講が難しい方を対象に「講座映像視聴会」を大学内の会場で開催します。
(各講座の配信期間最終日の翌日金曜日14:30-16:00に実施予定)

◎2022年度の会員限定講座映像視聴会は金曜日午後開催いたします

会員限定現地研修

p9

F 10月15日[土] 現地研修「文化財の宝庫 三井寺を訪ねて」

近江学は、近江という地域固有の風土を改めて検証する学問です。20世紀後半の日本人は、大量消費・大量廃棄の暮らしをひたすら追い求め、優れた素材や技術、豊かな暮らしの知恵や自然観を切り捨ててきました。この50年間に私たちが失ったものに思いをめぐらせ、過去の記憶を手がかりに、ごくあたり前のものの内にひそむ美しさ、かけがえのなさ、本来の豊かさを未来に向けて再生しなければなりません。文化とは人の営み、すなわち「暮らしのかたち」のこころです。本年は、「近江のかたちを明日につなぐ」と題した連続公開講座、歴史文化溢れる地域での写生会を開講します。公開講座を通じて、近江が持つ特性を再発見し、未来へ向けたあらたな価値観の創造につながればと願っています。

成安造形大学附属近江学研究所

2022年度 近江学研究所主催の講座について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に引き続き2022年度もご自宅で安全に受講することができる「オンデマンド講座」を実施します。オンデマンド講座は、インターネットにつながったパソコン・スマートフォン等を使って、収録した講座映像を視聴していただく講座です。インターネット環境が無い方は、成安造形大学内の会場で開催する講座映像視聴会と同じ映像を視聴していただくことができます。

講座種別	公開講座／会員限定講座		淡海の夢2022写生会
	オンデマンド講座	講座映像視聴会	
受講場所	 ご自宅で	 大学で	 屋外で
対象	どなたでも受講していただけます	オンデマンド講座の受講ができない方のみご参加いただけます	どなたでもご参加いただけます (ただし、小学生以下は保護者同伴)
受講方法	配信期間内であれば、ご自宅でいつでも講座映像を視聴できます	インターネット環境や視聴機器等が無い方、機器等の取り扱いが困難な方が対象です	講座映像視聴会の開催日に大学内の会場で講座映像を視聴できます

- ◎大学内での密集回避のため、ご自宅での「オンデマンド講座」の受講を推奨します。
- ◎「オンデマンド講座」の受講に必要なパソコン／タブレット／スマートフォン等機器類・インターネット接続環境・通信料などの費用は、受講者のご負担となります。
- ◎講座映像はオンデマンド講座・講座映像視聴会どちらも共通の内容です。
- ◎大学の方針に基づき、入構禁止となった場合には講座映像視聴会を中止する場合があります。
- ◎講座映像視聴会および写生会は、感染症拡大防止策を十分に講じた上で実施します。ご協力をお願いします。

特集1 近江学を学ぶ
 公開講座
 要申込・有料(1講座500円)
 ※2022年度近江学フォーラム会員は無料

公開講座「近江のかたちを明日につなぐ」

記号 **A**



辻 信一 氏



新スロー・イズ・ビューティフル

近江—未来社会かたち 「近江から考える 新スロー・イズ・ビューティフル」

講師：辻 信一 氏 | 明治学院大学名誉教授、文化NGO「ナマケモノ倶楽部」代表、文化人類学者

🏠 オンデマンド講座

配信期間：
4月22日[金]12:00-
5月6日[金]まで

📖 [講演内容]

辻先生は、20年前から、著書『スロー・イズ・ビューティフル』において、「スローはつながりである」と語ってこられた。そして今、コロナの時代を大転換期ととらえ、これまでの分離(セパレーション)からつながり(リレーション)へと転換していかなければならないと「新スロー・イズ・ビューティフル」を訴えられています。近江に今もなお息づくスローな風土を紹介いただきながら、コロナ後の社会のあり方を語っていただきます。

📺 講座映像視聴会

開催日時：
5月7日[土]
11:00-12:30(10:30受付開始)

👤 [講師プロフィール]

文化人類学者、環境＝文化NGO「ナマケモノ倶楽部」代表、明治学院大学名誉教授。1952年生まれ。1977年北米に渡り、カナダ、アメリカの諸大学で哲学・文化人類学を学び、1988年米国コーネル大学で文化人類学博士号を取得。1992年より2020年まで明治学院大学国際学部教員として「文化とエコロジー」などの講座を担当。またアクティビストとして、「スローライフ」、「ハチドリひとしずく」、「キャンドルナイト」、「しあわせの経済」などの社会ムーブメントの先頭に立つ。『スロー・イズ・ビューティフル』、『常世の舟を漕ぎて』など著書多数。映像作品に『アジアの叡智』(DVDブックシリーズ、現在8巻)など。最新刊は『「あいだ」の思想』(大月書店)、DVDブック「レイジーマン物語—タイの森で出会った“なまけ者”」(ゆっくり堂)。

会場：成安造形大学

対象：中学生以上

申込締切日：4月25日[月] 必着

近江—受け継ぐかたち 「長浜の漆文化の継承 曳山修復を手がける塗師」

講師：渡邊嘉久 氏 | 株式会社渡邊美術工芸 代表取締役・長浜仏壇塗師

対談：真下武久(本学准教授・近江学研究所研究員)

🏠 オンデマンド講座

配信期間：
9月9日[金]12:00-
9月23日[金]まで

📖 [講演内容]

文化誌「近江学」第13号では、長浜の塗師、渡邊嘉久氏へのインタビューを通して、技術の挑戦が常に求められる曳山修復の話を中心に、先代から続く浜仏壇の仕事や、長浜市常喜町の漆文化を辿る活動などを広く紹介しました。本講演では、誌面でお伝えできなかった、渡邊氏が手がける仕事やその人柄を映像を通してお伝えしていきます。

📺 講座映像視聴会

開催日時：
9月24日[土]
11:00-12:30(10:30受付開始)

👤 [講師プロフィール]

1963年(昭和38年)長浜市生まれ。大学卒業後、銀行員などを経て家業の渡邊仏壇店の三代目として漆塗りの仕事に就く。父渡邊信雄のもとで浜仏壇の漆塗り、長浜曳山漆工品の修復に携わる。2010年(平成22年)株式会社渡邊美術工芸を設立し代表に就任。それ以降、各地の山車修復の仕事を手がけるようになる。仏壇仏具の漆塗り、山車の修復と並行して、長浜漆器「常喜椀」の製造販売、長浜に漆の木を増やす活動にも取り組む。

会場：成安造形大学

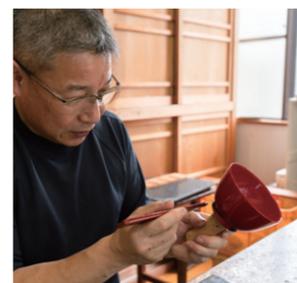
対象：中学生以上

申込締切日：9月12日[月] 必着

記号 **I**



渡邊嘉久 氏



漆を塗る渡邊氏 | 写真：真下武久

淡海の夢2022写生会

受講料:1講座につき500円 | ※2022年度近江学フォーラム会員は無料です。

琵琶湖を中心とした棚田・里山、湖国の風景は、今、次世代に引き継ぎたい美しく貴重な日本の原風景として広く注目されています。「淡海の夢」は、年2回の写生会と公募風景展を通して、近江の素晴らしさを体感し固有の価値を再発見する講座です。成安造形大学の教員が、風景写生のコツをレクチャーし、鑑賞会を実施します。「プロのアドバイスを受けられるチャンス」と好評いただいております。ぜひお申込みください。

講師:

永江弘之 | 本学教授・近江学研究所研究員

ほか、本学教員が参加予定

対象:どなたでもご参加いただけます。

(ただし、小学生以下は保護者同伴)

定員:各日40名 ※雨天中止



講評会のようす



八幡場の秋—近江八幡市—(F6) 永江弘之

[講師プロフィール]

1960年、大阪府生まれ。大阪教育大学教育学部卒業。中学校美術科教諭を経て、2003年成安造形大学講師となり、現在、成安造形大学芸術学部芸術学科イラストレーション領域教授、2008年から同大学附属近江学研究所研究員。近江学研究所公開講座「淡海の夢」(写生会・公募展)企画責任者。近江の風景に魅せられ、色彩感あふれる写実風景画や幻視風景画を制作。

記号 ウ



仰木の写生会のようす

5月28日[土]9:30-17:00

仰木・棚田里山写生会

会場:滋賀県大津市仰木周辺

申込締切日:5月13日[金]必着

仰木は、比叡山から琵琶湖の西岸へと伸びる尾根沿いの農村集落で、1150年の歴史があります。周囲にゆったりと階段状に広がる棚田や雑木林など、人々が守り育ててきた日本の原風景ともいえる風景が魅力です。

[公募展] 棚田・里山、湖辺の郷 淡海の夢2022風景展

本学のギャラリーアートサイトにて「棚田・里山、湖辺の郷 淡海の夢2022風景展」の開催を12月に予定しています。公募内容は8月上旬に、近江学研究所WEBサイトにてご案内いたします。



淡海の夢 風景展のようす

記号 エ



堅田の写生会のようす

10月8日[土]9:30-17:00

堅田・湖族の郷写生会

会場:滋賀県大津市堅田周辺

申込締切日:9月23日[金]必着

堅田は、琵琶湖の水運・漁業など、湖上の特権を持つ堅田衆(湖族)が栄えた歴史ある町。その町並みをはじめ、蓮如や一休和尚、松尾芭蕉ゆかりの寺院、浮御堂、堅田漁港など、趣深い湖辺の風景が魅力です。

公開講座申込方法

・下記[1][2]のいずれかの方法でお申込みください。

※オンデマンド講座の申込は[1]のみとなります。

[1]

WEBサイト「公開講座申込みフォーム」から申込

<https://www.seian.ac.jp/public>

成安造形大学 公開講座案内

検索



「公開講座申込フォーム」にアクセスしてお申込みください。

お申込みの前には、ページ内に記載されている

「受講上の注意」を必ずご確認ください、内容にご承諾のうえお申込みください。

◎オンデマンド講座の受講料のお支払い方法はお申込みの際にご案内いたします。

「講座映像視聴会／写生会」連絡事項

参加証について

◎参加証は、申込締切日より1週間以内に送付します。

◎申込多数の場合は抽選し、当選された方にのみ送付します。

◎締切日以降も募集人数に達していない場合は、先着順で参加証を送付します。

受講料について

◎2022年度近江学フォーラム会員、本学学生・教職員は無料です。

◎受講料は当日受付にてお支払いください。

ご来場について

◎お車でお越しの際は、南門の学生駐車場をご利用ください。

◎乳幼児をお連れの方の参加はご遠慮いただいております。ご了承ください。

◎ご来場の際はマスクの着用・検温・手指アルコール消毒等の感染症拡大防止対策へのご協力をお願いいたします。

その他

◎都合により講座内容を変更または中止する場合があります。

◎大学広報や記録・公開などを目的とし、各講座とも写真・映像撮影をします。

◎個人情報は参加証の発送、本学からの各種ご案内、個人を特定しない統計情報の収集以外の目的には使用しません。ただし、感染症拡大防止のため、必要に応じて保健所等の公的機関へ情報提供を行う場合があります。

《お知らせ》新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止(または延期)することがあります。その場合は、本学ホームページ・近江学研究所ホームページでお知らせします。最新の情報をご確認ください。

[2]

添付の申込ハガキ・郵便ハガキ・Eメールで申込

下記1-6を明記のうえ、お申込みください。

※6は該当者のみご記入ください。

(複数名での申込をご希望の場合は1-6を人数分お書きください)

1. 講座記号(ア-エ) / 2. 郵便番号 / 3. 住所 /

4. 氏名(フリガナ) / 5. 電話番号 /

6. 所属(本学学生・教職員の場合)

◎申込先

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

成安造形大学附属近江学研究所 公開講座宛

omigakukouza@seian.ac.jp

◎オンデマンド講座は[1]のWEBサイトからお申込みください。ハガキ・Eメールではお申込みいただけません。

◎添付の申込ハガキを使用される場合は63円切手の貼付が必要です。

成安造形大学附属近江学研究所

2022年度 公開講座「講座映像視聴会／写生会」申込ハガキ

1. 希望する講座記号(ア-エ/複数可)

「講座映像視聴会」

ア 近江—未来社会のかたち イ 近江—受け継ぐかたち

「写生会」

ウ 仰木 写生会 エ 堅田 写生会

※オンデマンド講座の受講をご希望の方は下記WEBサイトからお申込みください。
<https://www.seian.ac.jp/public>

2. 郵便番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 住所

	都道府県		市区町村

4. 氏名

(フリガナ)

5. 電話番号

--

6. 所属

本学学生 教職員(該当の場合はチェックをしてください)

2022年度「近江学フォーラム」 会員募集のご案内

テーマ：
祭—よりどころ

滋賀県(近江)の持つ豊かな自然と歴史、文化に対して、興味・関心のある方、ご自身の持っておられる知識や見聞を深めたい、広げたいとお考えの方が集まる「近江学フォーラム」。年間1つのテーマで学びを深めます。一緒に「近江学」を学びませんか。ぜひお申し込みください。

会員特典1 会員限定講座の受講

近江の歴史、民俗、美術、宗教などに精通する講師による講座です。

2022年度は、オンデマンド講座として実施します。

詳細は3ページをご覧ください。

会員限定講座：年間5回

講座映像視聴会会場：成安造形大学 聚英館3階 聚英ホール

近江学に集う

特集2 近江学に集う
近江学フォーラム・会員限定講座
—会員制・年会費5000円—

お手数ですが
63円切手をお貼りください

郵便はがき

520-0248
滋賀県大津市仰木の里東4-3-1
成安造形大学
附属近江学研究所 行



伊庭の坂下し(東近江市) | 写真:辻村耕司

会員特典1 会員限定講座

A 祭—よりどころ 場所の中心とゆるい境界

講師：金 再奎 氏 | 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター専門研究員
加藤賢治 | 本学教授・近江学研究所副所長
石川 亮 | 本学准教授・近江学研究所研究員

オンデマンド講座

配信期間：
5月26日[木] 12:00-
6月9日[木] まで

講座映像視聴会

開催日時：
6月10日[金]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】

2021年6月、滋賀県立美術館がリニューアルオープンする記念展覧会に、関連展示として参画し、「MUSUBU地図 | 近江(滋賀県)Ver.3.0」を制作しました。その地図から持続可能な社会のあり方、地域社会の結びつきの大切さ、そして祭りの意義などについて、3人の研究者がリレーで解説します。



八王子山(大津市坂本三宮と牛尾宮) | 写真:辻村耕司

B 近江の祭・神仏習合のかたち、比叡山と日吉大社

講師：嵯峨井 建 氏 | 京都國學院講師

オンデマンド講座

配信期間：
6月23日[木] 12:00-
7月7日[木] まで

講座映像視聴会

開催日時：
7月8日[金]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】

最澄が比叡山に上山して以来、比叡山延暦寺と日吉大社の関係は、神仏習合の原点であると言えます。日吉山王祭の伝承と儀礼を紐解きながら、神仏習合の姿を語っていただきます。



山王祭で行われる牛の神事 | 写真:辻村耕司

C 宮座と当屋制

講師：市川秀之 氏 | 滋賀県立大学人間文化学部教授

オンデマンド講座

配信期間：
10月27日[木] 12:00-
11月10日[木] まで

講座映像視聴会

開催日時：
11月11日[金]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】

近江は宮座研究の出発点であると言われてきました。宮座とは何か。肥後和男の研究を中心に、当屋制という制度をもとに、自然を利用し、公平性を保ちながら共に暮らしてきた村人の知恵に迫っていただきます。



「採集手帖」成城大学民俗学研究所蔵

D 近江の曳山祭

講師：橋本 章 氏 | 京都文化博物館主任学芸員

オンデマンド講座

配信期間：
11月24日[木] 12:00-
12月8日[木] まで

講座映像視聴会

開催日時：
12月9日[金]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】

近江に数ある祭りの中でも、曳山が登場すると特に盛りあがります。その魅力は、作り物、からくり、子ども歌舞伎、お囃子など様々ですが、地域文化の縮図ともいえる近江の曳山文化を丁寧に解説いただけます。



大津祭の曳山(西行権理山) | 写真:橋本章

E 現代と祭り 過去と未来をつなぐ玉手箱

講師：矢田直樹 氏 | 滋賀県文化スポーツ部文化財保護課主査

オンデマンド講座

配信期間：
1月5日[木] 12:00-
1月19日[木] まで

講座映像視聴会

開催日時：
1月20日[金]
14:30-16:00(14:00受付開始)

【講演内容】

滋賀県(近江)は祭りが豊かに継承されている地域です。しかし近年は、祭りの継承に不可欠な人材や資金、祭りに対する熱意などの課題があり、加えてコロナ禍に見舞われ、祭りの実施もままならない状況です。地域の祭りを継承していくことはなぜ重要なのか、あらためて祭りの意義とこれからの考えたいと思います。



朽木古屋の六斎念仏(高島市) | 写真:辻村耕司

©2022年度の会員限定講座映像視聴会は金曜日午後開催いたします

会員特典2

F 会員限定 現地研修の参加

10月15日[土] ※別途有料

文化財の宝庫 三井寺を訪ねて

天台宗門宗総本山三井寺は、智証大師円珍が中興したことで知られます。円珍は、国宝「五部心観」をはじめ多くの教典類を唐から持ち帰り、三井寺を天台別院として再興します。以後、山門派(延暦寺)との抗争や、源平の戦乱など多くの厄難に遭遇しますが、その度に不死鳥の如く復興してきました。境内には、国宝、国重要文化財など、伝承とともに多くの文化財が今も伝えられています。普段見ることのできない宝物も含め、現地でじっくり鑑賞し、学びを深めたいと思います。



三井寺 勸学院客殿(国宝) | 写真: 園城寺提供

会員特典3

文化誌『近江学』第13号「特集—祭 よりどころ」を無料進呈

今号の特集は「祭 よりどころ」。絢爛豪華な山車が街中にくり出す滋賀県内各地の曳山祭、山中で人知れず催される山の神祭、中世芸能の「風流(ふうりゅう)」を伝える雨乞い返礼踊りや六齋念仏など、長引くコロナ禍でその継承が危惧される「祭」の過去と現在をめぐる論考を収録。

文化誌『近江学』第13号「特集—祭 よりどころ」目次

- ・「祭—よりどころ 場所の中心とゆるい境界」
木村至宏、石川 亮、金 再奎、加藤賢治
- ・「「コンチキテン」見に行こ—愛すべき大津祭—」今森光彦
- ・「近江の祭・神仏習合のかたち、比叡山と日吉大社」嵯峨井 建
- ・「宮座と当屋制」市川秀之
- ・「山の神祭」和田光生
- ・「オコナイは何のために 湖南市三雲の妙感寺地区の「大講内」から考える」中島誠一
- ・「近江の曳山祭」橋本章
- ・「風流の祭り」大塚活美
- ・「銅鑼祭儀をめぐって」進藤 武
- ・「現代と祭り 過去と未来をつなぐ玉手箱」矢田直樹
- ・「長浜の漆文化の継承 曳山修復を手かける塗師 渡邊嘉久氏」
真下武久
- ・「近江の美術—園城寺 勸学院客殿障壁画」小嵩善通

発行: 成安造形大学附属近江学研究所
〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1
発行人: 小嵩善通
編集長: 小嵩善通
デザイン: 塩谷啓悟 | <http://shiotanikeigo.com/>
編集: 玉置慎輔
校正: 岸田幸治(サンライズ出版株式会社)
印刷: 宮川印刷株式会社
発売元: サンライズ出版株式会社
〒522-0004 滋賀県彦根市鳥居本町655-1
TEL: 0749-22-0627
発行部数: 1,200部
定価: 1,800円+税
ISBN: 978-4-88325-747-8

会員特典4

近江学研究所主催の 公開講座を 無料で受講可能

要申込。各講座(受講料500円)を無料で受講できます。講座内容は、P4-6をご覧ください。

会員特典7

成安造形大学聴講生選考料免除

成安造形大学では、一部の選択科目を一般の社会人の方々にも受講いただける「聴講生制度」を実施しています。近江学フォーラム会員の方は、受講に必要となる選考料(1万円)が免除されます。◎科目例 文化史、琵琶湖の民俗史など ※オンライン授業となる場合があります
《2022年度後期出願期間》: 8月17日[水]-8月26日[金]
前期・通年の出願は前年度の2月に受付を行います。詳しくは成安造形大学 教学課(TEL 077-574-2113)までお問い合わせください。

会員特典5

近江学フォーラム会報誌 「近江通信紙」を 無料進呈

年間2回発行。
近江学研究所・大学の情報、
滋賀の文化情報などを掲載。



会員特典6

成安造形大学附属 図書館で書籍貸出が 利用できる会員証の発行

新型コロナウイルスへの対応により、学外の方の図書館利用を休止させていただきます。ご利用の際は、事前に大学ホームページ等で開館状況をご確認ください。

2022年度

「近江学フォーラム」

入会について

年会費

入会金: 無料
※年会費は途中入会の場合も同額です。

◎個人会員 | 5,000円

◎学園会員 | 3,000円
(成安造形大学学生・卒業生及びその保護者、聚英会、旧設置校卒業生、成安幼稚園卒園生)

◎家族会員 | 3,000円
個人会員・学園会員と生計を同一にするご家族の方は、「家族会員」にお申込みいただけます。
・家族会員は、「特典3文化誌『近江学』」の無料進呈はありません。
・送付物は、個人会員様のご住所に送付いたします。

◎法人・団体会員 | 10,000円
・会員証は法人・団体名で2枚発行。
・特定刊行物は2部進呈いたします。

入会手続

年会費を下記[1][2][3]のいずれかの方法でお支払ください。

[1] 郵便振替 / [2] 銀行振込 / [3] 窓口支払

[1] 郵便振替
・添付のゆうちょ銀行「払込取扱票」(下欄)に必要事項を記入し、2022年度(2022年4月1日-2023年3月31日)の年会費を払込みください。(恐れ入りますが、振込み手数料は各自ご負担ください)
・振込みいただく際の「受取書」または「受領証」をもって領収書に代えさせていただきます。
※ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方も添付のゆうちょ銀行「払込取扱票」をご使用ください。

[2] 銀行振込
銀行振込を利用される方は、近江学研究所(077-574-2118)にご連絡ください。手続きに必要な書類を送付いたします。
※入会受付および入会資料の送付は、毎月末の入金確認後に行います。

[3] 窓口支払
成安造形大学 本館棟1階 大学事務所内 近江学研究所にて年会費をお支払いください。
受付時間 | 平日10時-16時(大学の学年暦により、休業日場合があります。)

入会后お送りするもの

- 講座申込専用ハガキ(会員限定・公開講座兼用)
- 会員証
- 会員のしおり
- 特典刊行物(文化誌『近江学』・近江通信紙) など

2022年度「近江学フォーラム」入会用 ゆうちょ銀行「払込取扱票」

00 大阪		払込取扱票																		
口座記号番号																				
0	0	9	3	0	8	2	2	6	0	1	6	金額	千	百	十	万	千	百	十	円
加入者名		学校法人 京都成安学園										料	金	備考						
通		2022年度 近江学フォーラム入会申込書 <input checked="" type="checkbox"/> 該当箇所にチェックください <input type="checkbox"/> 個人会員 (5,000円) <input type="checkbox"/> 家族会員 (3,000円) <input type="checkbox"/> 法人会員 (10,000円) <input type="checkbox"/> 学園会員 (3,000円) (<input type="checkbox"/> 本学学生・卒業生、及びその保護者 <input type="checkbox"/> 聚英会) ご記入ください (<input type="checkbox"/> 旧設置校卒業生 <input type="checkbox"/> 成安幼稚園卒園生) 《個人・学園会員》氏名/フリガナ() 年齢() 性別(男/女) 《家族会員》氏名/フリガナ() 年齢() 性別(男/女)・続柄() 《法人会員》法人・団体名/フリガナ() 代表者氏名/フリガナ() 代表者役職名()										切り取らな								
ご依頼人		おとこ (郵便番号 -) ※ おなまえ (電話番号 - -) 様										日付	印							
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 大第44574号)																				
これより下部には何も記入しないでください。																				

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	9	3	0	8		
加入者名	学校法人 京都成安学園							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ ※						様	
料	(消費税込み)						日付	印
金	円							
備考								

この受領証は、大切に保管してください。

お問合せ

〒520-0248 滋賀県大津市仰木の里東4-3-1

成安造形大学附属近江学研究所

Tel: 077-574-2118 | Fax: 077-574-2120 | E-mail: omigaku@seian.ac.jp

対応時間 | 平日9時-17時

アクセス

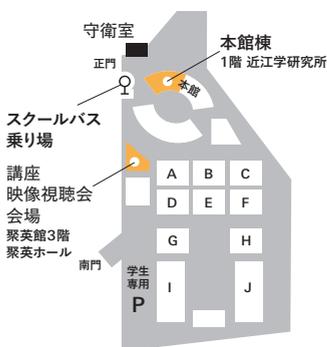
ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

JR湖西線「おごと温泉」駅下車。滋賀銀行前バス停よりスクールバス乗車3分。

- ◎ JRご利用で、京都から20分・大阪から46分・神戸から65分の便利なアクセスです。
- ◎ JRおごと温泉駅前から無料のスクールバスをご利用いただけます。(1時間に2-4本程度運行)
- ◎ スクールバス運休時(土日祝・長期休暇期間など)は路線バス(94番系統)をご利用ください。
- ◎ 路線バス(有料)をご利用いただく場合は「成安造形大学前」で下車してください。
- ◎ 講座映像視聴会にご参加の方はお車でご来場いただけます。
南門の学生駐車場をご利用ください。



学内マップ



近江学公式ホームページ

<https://omigaku.org/>



近江学 Twitter

<https://twitter.com/omigaku>



@omigaku

近江学 Instagram

https://www.instagram.com/bunkashi_omigaku/



[]

成安造形大学



(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。